

P115b **NGC2264 における原始星の X 線長期変動**

兼藤 聡一郎, 坪井 陽子, 宮崎 諒平, 長谷川 諒 (中央大学)

NGC2264 は巨大分子雲 Mon OB1 の中で赤外線帯域で最も明るい活発な星生成領域である。電波の連続波での観測ではたくさんのコアが確認されており、まさに今、星が生成されていることを表している。X 線帯域では、角度分解能、エネルギー分解能の良い X 線観測衛星 Chandra が 2002 年に 1 観測、2011 年に 4 観測のモニター観測を行っていた。

そこで我々は、この全てのデータを解析し、300 以上の X 線ソースの検出を確認した。視野には電波の連続波観測で発見されたダストコアの集団、領域 C と D が含まれていた。これらの領域にはたくさんの Class 0 天体が含まれている。このダストコア周辺部に我々は複数の X 線源を検出し、それらの長期的時間変動を捉えた。発表では X 線源が、赤外線、電波においてどのように検出されているかを報告し、それぞれの進化段階などの詳細についても報告する。